

<学会会員による研究会の企画・開催について>

令和3年4月16日

学会事務局・学会誌編集委員会・研究企画委員会

学会の活動の活性化策として、会員による研究会の企画・開催を歓迎します。

学会事務局で Zoom を契約しましたので、対面開催だけでなくオンライン開催も可能です。科研研究チームの成果報告会や、若手グループの研究会、有志による活動企画、地域と連携した企画など、様々な研究活動が考えられると思います。Zoom 開催であれば、学会大会以外の時期・場所でも研究成果を発信でき、会場費・移動費を抑えて研究活動を展開できる、大会シンポのような大規模なテーマ・開催形式でなくても研究成果の発信や深化が可能な場ができる、大会シンポのテーマに関わりなくまとまったテーマでの成果報告が可能になる…などのメリットがあります。

Zoom 開催は、学会として開催を支援することになるため、学会会員が開催責任者であり、研究会のメンバーの多くが学会会員である場合に開催可能です。開催を希望する方（開催責任者）は、事務局にお知らせください。研究企画委員会で企画の内容・位置づけなどを確認したうえで、開催の諾否をお知らせいたします。

開催に必要な手続きの手順や作業内容などは、別紙にまとめていますので、参照ください。

なお、会員サービスの一環として研究会への参加は無料とします。

また、開催責任者には受益者負担として若干ですが費用負担（2,000 円）をお願いいたします。開催に関わる広報（HP の更新・設定費）、Zoom の契約維持費が発生するためです。

※なお、新型コロナウイルス流行状況とその感染防止対策の必要性を考慮し、今期（令和3年10月末まで）については特別措置として費用負担を頂きません。次期以降については、状況を鑑み判断いたします。

あわせて、研究会開催の実績を記録として残せるよう、学会内外に発信できるよう、新たに学会誌に「研究会報告」のコーナーを設けることとします。

研究会の開催概要、テーマとその目的等、当日の登壇者の報告要旨、ディスカッションの概要、研究会の成果・課題などを、見開き1～2ページで掲載いたします。

これにより、（有料ですが）成果要旨を投稿することで J-stage に記事が掲載されます。したがって、研究会参加者に限らず広く成果公表が可能となります（たとえば、学会関係者ではない水産関係者人や、文献を探している学部生・院生などが J-stage にアクセスした際に、記事を閲覧し、研究活動の存在や学会を認知するチャンスになる可能性があります）。

希望される開催責任者は、情報等を取りまとめて原稿を作成し、編集委員会に投稿をお願いいたします。なお、他の投稿原稿と同様に、開催責任者は受益者負担として投稿料（J-stage 搭載作業費 5,000 円）を支払ってください。

「研究会報告」は、当日の開催概要を記すものです。報告に関してより詳細に公表したい場合には、通常の論文投稿と同様の準備・手続きによる情報発信ももちろん可能です。積極的な報告内容の論文化を歓迎いたします。